# Joint News Release

2019 年 9 月 13 日

この資料は BASF 本社（ドイツ）および Eramet （フランス）、SUEZ（フランス）が 2019 年 9 月 11 日に発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

## Eramet、BASF、SUEZ、リチウムイオン電池リサイクルの革新的なクローズド・ループ・プロセスの開発で協業し、急成長する市場に対応

- Eramet が BASF、SUEZ と共同で推進する電池リサイクルプロジェクト「ReLieVe」、欧州連合(EU)により採択
- プロセス開発と一貫したリサイクル産業の構築に向けて、EU および 3 社が 470 万ユーロを提供
- 電気自動車市場の拡大に伴う大量のリサイクルニーズ
- Chimie ParisTech およびノルウェー科学技術大学が学術支援

Eramet（エラメット、本社：フランス）、BASF（本社：ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン）、SUEZ（スエズ、本社：フランス）が立ち上げた、電気自動車用リチウムイオン電池のリサイクルプロジェクト「ReLieVe」（Recycling Li-ion batteries for electric Vehicle）に、EU が設立・出資したコンソーシアムである EIT RawMaterials およびプロジェクトメンバーの 3 社から、470 万ユーロが提供されることになりました。このプロジェクトは、電気自動車からリチウムイオン電池をリサイクルする革新的なクローズド・ループ・プロセスを開発し、欧州で新しいリチウムイオン電池を生産することを目的としています。

「ReLieVe」プロジェクトでは、2020 年 1 月から 2 年間にわたり、使用済み電池の回収・解体から新しい電極材料の製造に至るまでの革新的なプロセスの大規模開発、および統合

産業セクターの構築に向けた一連の活動を実施します。このようなバリューチェーンに沿ったコラボレーションにより、効率的かつ統合的なアプローチが可能になります。

プロジェクトメンバーは各産業のリーディングカンパニーであるため、バリューチェーンにおいてプロジェクトの推進にふさわしい立場にあります。SUEZは使用済み電池の回収と解体、Eramet はリサイクルプロセスの開発、そして BASF は正極材を製造しています。Chimie ParisTech（パリ高等化学学校）やノルウェー科学技術大学の研究者、および諮問委員会の一員となる自動車業界からの支援も受けます。

欧州で新たなリチウムイオンバッテリーのリサイクル能力を開発することにより、今後数年で予測される同市場の急成長に対応し、また、エネルギー移行に向けて必要とされる欧州での原料供給を確保することが可能になります。さらに、有益なリサイクルプロセスにより原料を節約し、持続可能なパフォーマンスという本質的な課題に対応します。

ニッケル、コバルト、マンガンおよびリチウムを電池に適した製品にリサイクルすることは、現在、Eramet Group の研究開発の中核となっています。Eramet Group の R&D センターである Eramet Ideas の会長、ローラン・ジョンクール氏は次のように述べています。「『ReLieVe』プロジェクトは、欧州のプレーヤーを団結させ、急速に成長しているリチウムイオン電池市場での地位を確立するという欧州委員会の呼びかけに対応した取り組みです。資金提供により、革新的かつ競争力のあるプロセスを備えた、欧州規模のリチウムイオン電池リサイクルセクターの構築に向けた取り組みを加速することができます。」

BASF バッテリーマテリアルズ・ヨーロッパのビジネスマネジメント担当バイスプレジデントであるダニエル・シェーンフェルダーは述べています。「BASF は、正極材を電気自動車用電池メーカーに供給する主要サプライヤーとして、エレクトロモビリティの市場展開においてリサイクルがますます重要な役割を果たすようになると確信しています。私たちはパートナーと共に、革新的、持続可能、かつ競争力のある電池バリューチェーンを欧州で構築することにコミットしており、正極材生産における専門知識を活かして、このプロジェクトに貢献していきます。」

また、SUEZ の COO で北ヨーロッパおよび IWS Europe 担当 Senior Executive VP Group のジャン-マルク・ブルシエ氏は次のように述べています。「このパートナーシップを通じて、専門知識を提供し、使用済みバッテリーコンポーネントの回収に貢献できることを誇りに思

います。欧州では 2027 年までに約 5 万トンの電池がリサイクルされると予想されており、2035 年までにはほぼ 10 倍になる可能性があります。『ReLieVe』プロジェクトにより、SUEZ は循環型ソリューションと持続可能な都市モビリティを融合する代替アプローチの開発を支援していきます。」

「ReLieVe」プロジェクトに共同出資する EIT RawMaterials は、世界の原材料セクターにおける最大のコンソーシアムです。EU の機関である EIT（欧州イノベーション技術機構）によって設立・出資されており、イノベーション、教育および起業家精神を推進することにより、バリューチェーンに沿って欧州の鉱物、金属および材料セクターの持続可能な競争力を確保することを目的としています。

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

**本リリースに関するお問い合わせ先:**

**BASF ジャパン株式会社**
コーポレート・アフェアーズ部
馬込 綾子
Phone: 03-5290-2511
Fax: 03-5290-3333
Email: ayako.magome@basf.com

**Eramet**
**Media Relations**
Pauline Briand
Phone: +33 (0)1 45 38 31 76
Email: pauline.briand@eramet.com

**SUEZ**
**Media Relations**
Julien Bachelet
Phone: +33 (0)1 58 81 43 81
Email: julien.bachelet@suez.com

**■BASF の触媒事業本部について**
BASF の触媒事業本部は、環境触媒とプロセス触媒の世界的なリーディング・サプライヤーです。同事業本部は、私たちが呼吸する大気の保護、生活を支える燃料の製造、先進のバッテリー材料などを含む多岐にわたる化学品やプラスチックの効率的な生産を支える技術開発で卓越した専門知識を提供します。BASF の業界をリードする研究開発プラットフォーム、技術開発への情熱、貴金属とベースメタルへの深い知識を活用することで、触媒事業本部は、独自のソリューションを開発し、顧客の成功をサポートしています。BASF の触媒事業本部についての詳細は、インターネットホームページwww.catalysts.basf.com をご覧ください。

**■BASF について**

BASF（ビーエーエスエフ）は、ドイツ ルートヴィッヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、環境保護と社会的責任の追及、経済的な成功の 3 つを同時に果たしています。また、全世界で約 122,000 人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献できるよう努めています。ポートフォリオは、6 つの事業セグメント（ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、サーフェステクノロジー、ニュートリション＆ケア、アグロソリューション）から成ります。2018 年の BASF の売上高は約 630 億ユーロでした。BASF 株式はフランクフルト証券取引所（BAS）に上場しているほか、米国預託証券（BASFY）として取引されています。BASF の詳しい情報は、www.basf.com をご覧ください。

**■Eramet について**

Eramet は世界的な鉱山・冶金グループです。20 カ国で約 13,000 人の社員を有し、2018 年の売上高は約 40 億ユーロ。詳細については、www.eramet.com をご覧ください。

**■SUEZ について**

SUEZ は五大陸に 90,000 人の社員を有する、スマートで持続可能な資源管理の世界的リーダーです。2018 年の総収益は 173 億ユーロ。詳細については、www.suez.com をご覧ください。